



学校推薦入学試験 推 薦 書

京都ノートルダム女子大学
学 長 殿

2023 年 ____ 月 ____ 日

所在地

学校名

学校長名

公印

下記の生徒を貴学の学校推薦入学試験の志願者として推薦いたします。

1. 生徒氏名 _____

2. 本志願者について、各スキル・能力の項目にあてはまる欄に○を書き入れてください。

各スキル・能力項目	極めて優れている	優れている	よい	備考
知識・理解力				
汎用的技能 (言語力、思考・解決力)				
態度・志向性 (共生・協働する力)				
統合的な学習経験と 総合的思考力 (創造・発信力)				
その他特記事項 (特筆すべきスキル、 能力等があれば 記載してください)				

各スキル・能力項目は本学の 3 つの方針（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）で掲げる本学で育てたい力に準じています（裏面参照）。

2. の箇所については、以下の本学の3つの方針の「4年間で育てたい力」DP.2～DP.6のアドミッション・ポリシーの（期待する能力）をご覧ください、貴校の被推薦者の評価をご記入ください。

京都ノートルダム女子大学3つの方針

目指すべき人材像	4年間で育てたい力（ND6）	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与方針）	カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施方針）	アドミッションポリシー（入学者受入れ方針）
キリスト教精神に基づいて、他者と自分を尊び、全人的な「常識」と「良識」を備え、自由に自分の人生を選び取っていく自立した女性	キリスト教精神・女性教育	DP.1. 自分を育てる力	共通教育科目では、キリスト教精神に基づき、豊かな人間性と良識、さらには他者への奉仕の精神を育てるためのベースとなる「カトリック教育」に関する科目を1・2年次に配置し、必修および選択必修を合わせて6単位以上とする。さらに、自立した女性として生きていく態度を身につけるための「女性」および「健康」に関する選択科目を配置する。	〔期待する能力〕 本学の建学の理念であるキリスト教精神に触れ、理解しようとする。他者や社会に奉仕する中で自己の人格を高めようとする。 〔選考方法〕 自己記入書（志望理由書、自己アピール）、調査書、面接
人間やその生活、社会、自然のすべてについての幅広い知識と教養を身につけ、新たな理解を行い、自己涵養に努める女性	知識・理解	DP.2. 知識・理解力	共通教育科目では、幅広い知識と教養を身につけるため「人間と文化」「生活と社会」「人間と自然」の3領域からなる教養科目を配置し、各領域2単位以上を選択必修とする。（さらなる専門的知識とその理解力を養うため、各学部学科の専門領域の概論等に関する科目を配置する。）	〔期待する能力〕 高等学校における学習内容を基礎として、各専門分野に資する知識と理解の土台がある。 〔選考方法〕 自己記入書（志望理由書、自己アピール）、調査書、レポート、学力試験、口頭試問、資格検定
グローバル化の時代に対応し、外国語および日本語で、国籍や言語の異なる人々と円滑にコミュニケーションを行うスキルや外国語を読み書きできる力を身につけた女性	汎用的技能	DP.3. 言語力	共通教育科目では、言語コミュニケーションスキルと読み書き能力を育成するため、母語である日本語、英語および他の言語についての科目を継続的に学べるように段階的に配置する。そのうち日本語については、日常の文書作成に必要な読み書きの基礎から研究論文執筆をにらんだアカデミックライティングの科目まで配置する。英語や他の外国語については、1～2年次に週2回授業を行い定着を図る。（さらに、専門性に応じた言語力を育成するため、各学部学科の専門教育科目を配置する。）	〔期待する能力〕 高等学校卒業程度の国語力をもち、英語などの外国語で読み、書き、聞く、話す意欲がある。 〔選考方法〕 自己記入書（志望理由書、自己アピール）、レポート、学力試験、面接、口頭試問、資格検定、英作文
現代社会のさまざまな課題に対して、知識や現象を分析し、適切な情報処理を行って、批判的、論理的に思考し、問題解決を行う力を身につけた女性		DP.4. 思考・解決力	共通教育科目では、思考の礎となる教養を教養科目から身につけるとともに、情報処理については、その考え方の基礎から応用、発展までの科目を配置する。（現代社会のさまざまな課題を解決するための思考力・問題解決力を育成するため、各学部各学科の専門教育科目を配置する。）	〔期待する能力〕 課題について粘り強く考えようとし、広い視野をもって、自らの考えを柔軟に評価・修正できる。 〔選考方法〕 自己記入書（志望理由書、自己アピール）、レポート、学力試験、面接、口頭試問
他者に心を開き、社会で不利な立場におかれた人々を含む、さまざまな人々と共生・協働する力を身につけ、すべての人が幸せに生きていくことに貢献する力を身につけた女性	態度・志向性	DP.5. 共生・協働する力	共通教育科目では、社会の中でさまざまな他者と共生・協働するために必要な力として、キャリア形成に関する科目、他者との関係づくりに必要な「ホスピタリティ」を学ぶ科目、および実際の協働へと結びつける「ボランティア」に関する科目等を配置している。（さらに必要な知識や理論を学べるように、各学部共通科目や各学科の専門教育科目に多くの科目を配置する。）	〔期待する能力〕 人と協力してともに問題解決をしようとする意欲をもち、集団での活動経験（部活動、課外活動、ボランティアなど）を活かし、様々な学習に能動的に参加できる。 〔選考方法〕 自己記入書（志望理由書、自己アピール）、調査書、面接
総合的な学修経験を行って、実践的に、他者や社会に対して、自らの学修成果を発信する女性。また、専門知識を基盤に、自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み、学修成果をまとめ、創造的に発信する女性	統合的な学習経験と総合的思考力	DP.6. 創造・発信力	（実践的に他者や社会に対して、自らの学習成果を創造的に発信することができる科目として、各学部学科の専門教育科目卒業研究等の科目を配置する。）	〔期待する能力〕 自らが学習したことを他者に明確に説明しようとし、さらに学習を通じて新たなアイデアやものを創り出そうとする。 〔選考方法〕 自己記入書（志望理由書、自己アピール）、レポート、学力試験、面接、口頭試問